

相倉民俗館

合掌造り（急勾配の茅葺き屋根の家屋）の里、相倉には2つの郷土博物館があり、この相倉民俗館では、かつて尾崎家住宅として使われていた伝統的な合掌造り建築の中で郷土の暮らしに関する充実した展示を見学できます。館内では地域の歴史が紹介されており、衣服や農具など様々な日用品の展示を通じて江戸時代（1603-1867）の五箇山の人々の暮らしに光を当てています。五箇山は他の集落から離れた場所にあり、地形的にも人の行き来が難しかったため、長い間自給自足で栄え、その中で独自の伝統文化が発展してきました。この博物館では、魅力的な展示でそのような伝統文化の一部を生き生きと紹介しています。2階では、合掌造り家屋の独特な構造についてさらに深く学ぶことができます。